

*Inspiring Confidence.
Accelerating Progress.*

**2024年度 第3四半期決算概要
及び 通期業績予想の見直し
(上方修正)**

2025年2月14日



東京海上ホールディングス

業績ハイライト

- Key Messages 3
- Executive Summary
(3Q実績、通期予想) 4

参考資料

- 参考資料 25

2024年度 第3四半期決算概要

- Group (修正純利益) 9
- 自然災害の発生状況 10
- Japan P&C事業 (TMNF) 11
- Japan Life事業 (AL) 16
- International事業 17

- ◆資料内にて使用している略称は、以下の通りです
- P&C : Property & Casualty (損害保険)
 - TMNF : 東京海上日動火災保険
 - AL : 東京海上日動あんしん生命保険
 - PHLY : Philadelphia
 - DFG : Delphi Financial Group
 - TMHCC : Tokio Marine HCC
 - TMK : Tokio Marine Kiln
 - TMSR : Tokio Marine Seguradora

(Blank Page)

好調な3Q実績

- 修正純利益（除く政策株式売却益）の3Q実績は4,725億円。
通期予想（11月公表。以下、11月予想）5,280億円に対して、進捗率89.5%と好調
- 上記に加え、政策株式売却ペースを更に加速（3Q末売却実績：約7,810億円）し、当該売却益を含めた修正純利益も9,910億円と好調
（11月予想：1兆400億円に対する進捗率は95.3%）

通期予想の 上方修正

修正純利益
+1,400億円

- Japan P&Cにおける自動車損害率悪化や過年度リザーブ積増等の影響を、政策株式の売却加速およびInternationalの好調な保険引受が打ち返し。修正純利益の通期予想（Actual）を、11月予想対比+1,400億円上方修正となる1兆1,800億円とする（CREローンに係るキャピタル損失額については、ワークアウト実行を通じた評価益の計上を除いて、11月予想から不変）
- 自然災害等の一過性の影響を除いたNormalizedベースの修正純利益は、11月予想対比+470億円上回る1兆710億円を見込む

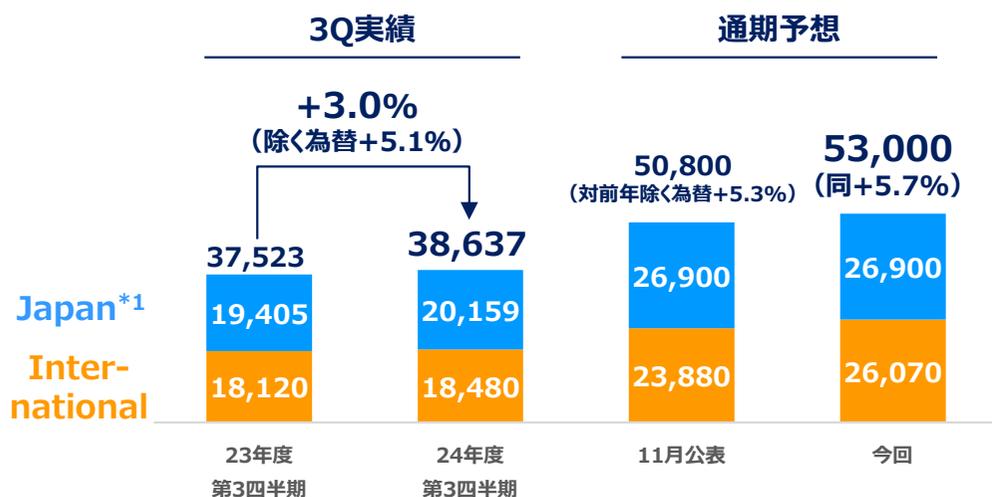
TMNFにおける Re-Newの進捗

- TMNFは、昨年2月に提出した「業務改善計画」に基づき、「政策株式の売却」や「本業協力の見直し」、「代理店への出向の取り止め」等を着実に実行している（12/13リリースの通り）
- 昨年11-12月には、潜在的なリスクを洗い出す目的で、第三者を入れた日常業務の総点検（ウォークスルー）を実施。これまで認識・想定していなかった全社的な問題や課題は新たに確認されていない。引続きRe-Newを確実に進めると共に、今後も継続的な点検の実施など、新たなリスクの発現を断つための対策を推進し、自浄作用を発揮しつつける

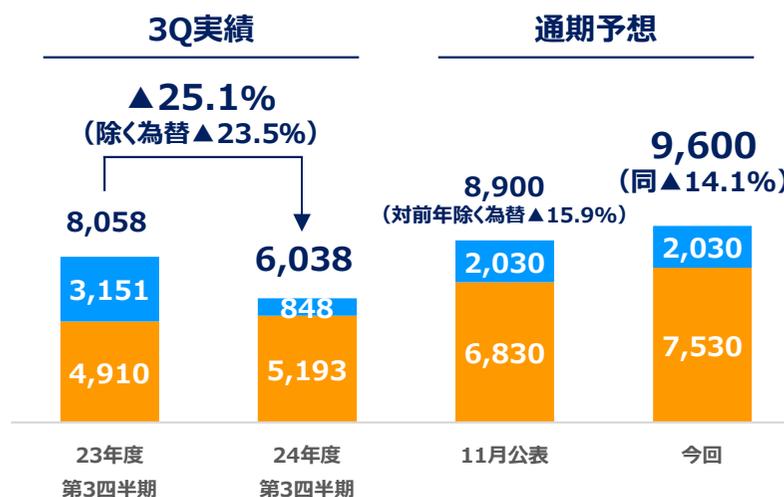
- 3Q実績について、正味収入保険料は、国内外でのレートアップ等により前年同期比+5.1%（除く為替。以下同様）、生命保険料は、Japan Lifeにおけるブロック出再の影響等により同▲23.5%と、いずれも11月予想に対して、順調に推移
- 足元基調を踏まえ、通期予想を、正味収入保険料は対前年+5.7%、生命保険料は同▲14.1%に上方修正する

単位：億円

正味収入保険料



生命保険料



前年同期比増収率 (除く為替)	Japan*1	International	11月公表	今回	前年同期比増収率 (除く為替)	Japan*1	International	11月公表	今回
	+3.9%	+6.4%	+3.7%	+3.7%		▲73.1%	+9.5%	▲52.7%	▲52.7%
			+7.0%	+7.8%				+8.4%	+9.3%

【Japan P&C】

- 3Q実績は、自動車・火災での商品・料率改定効果の発現など、11月予想に対し、概ね想定通りに進捗
- 通期予想は、11月公表通り（見直さない）

【International】

- 3Q実績は、各拠点における成長施策の着実な実行により、11月予想に対し、順調に進捗
- 通期予想は、対前年+7.0%（11月予想）から+7.8%に引上げ

【Japan Life】

- 3Q実績は、保有契約に係る生命保険料は、概ね11月予想通りに推移（既契約の一部をブロック出再*2したことによる減収は想定通り）
- 通期予想は、11月公表通り（見直さない）

【International】

- 3Q実績は、TMHCCのMSL*3やDFGの就業不能保障保険を中心に、11月予想に対し、好調に推移
- 通期予想は、対前年+8.4%（11月予想）から+9.3%に引上げ

*1: 正味収入保険料には、TMNF以外のJapan P&C事業を含む

*2: 各種リスクに対するリスクコントロール手法の多様化・高度化の一環として、一部の既契約ブロックについて共同保険式再保険による出再を実施。責任準備金の取崩しやALM債券の売却等により、財務会計・事業別利益への影響は限定的

*3: メディカルストップロス保険

- 修正純利益 (除く政策株式売却益) の3Q実績は4,725億円。11月予想 (5,280億円) に対して、進捗率は89.5%と好調
- 上記に加え、政策株式売却ペースを更に加速 (3Q末売却実績 : 約7,810億円) し、当該売却益を含めた修正純利益も9,910億円と好調 (11月予想 : 1兆400億円に対する進捗率は95.3%)

【各事業の事業別利益とその評価 ※記載数字は全て税後 (一部概算)】

【Japan P&C】 1,010億円 (11月予想対比の進捗率 : 73.2%)

- 円安進行*1によるマイナス影響 (▲約550億円*2) を主因に、11月予想を下回って推移
- 一過性の影響等 (国内自然災害・為替) を除いた事業別利益は、自動車損害率悪化 (▲約110億円*2) の一方、インカム収益の上振れ等もあり11月予想に対して、概ねインラインで進捗

【Japan Life】 305億円 (11月予想対比の進捗率 : 78.4%)

- 11月予想に対してインラインで進捗

【International】 3,141億円 (11月予想対比の進捗率 : 94.4%)

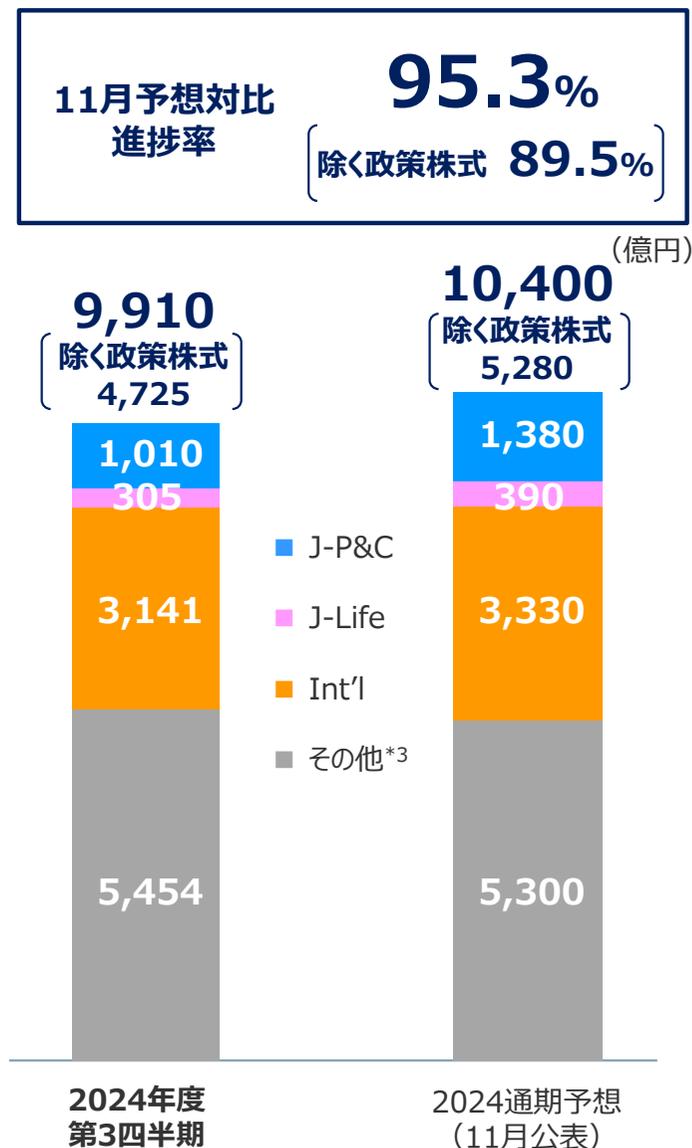
- 主要拠点において損害率が良好に推移する等、保険引受の基調は好調。資産運用も、インカム・キャピタル共に、好調に推移
- CREローンに係るCECL引当等については想定通り (詳細はP.7参照)

※11月予想に織り込んだ、CREローンに係るCECL積増によるキャピタルロス、4Qに厚めに計上予定のため、3Q時点での進捗率が高い

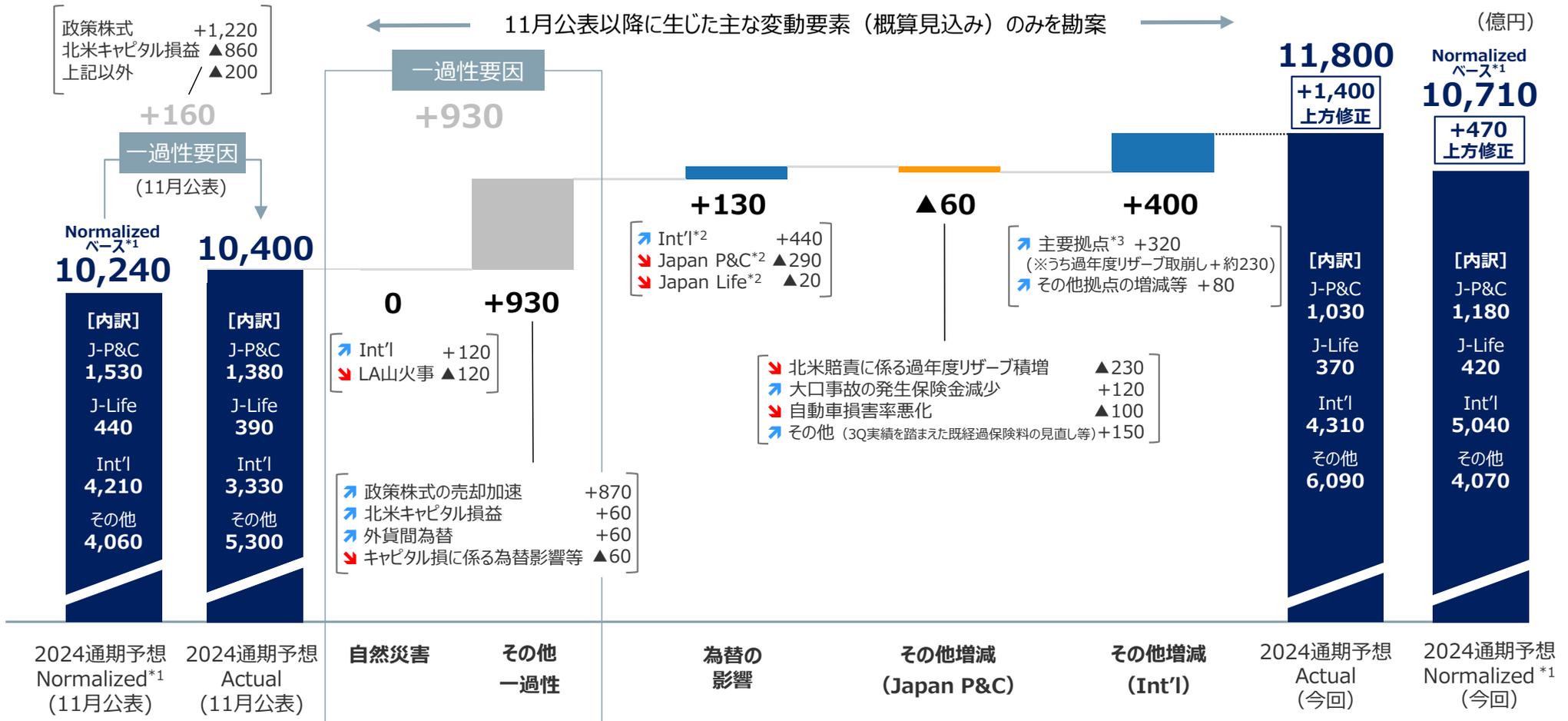
*1: 11月予想 = 9月末レート (142.73円/USD) 、3Q実績 = 12月末レート (158.18円/USD)

*2: 11月予想対比の増減額 (税前)

*3: TMNF以外のJapan P&C事業や金融一般事業、政策株式売却損益など。以降も同様



- Japan P&Cにおける自動車損害率悪化や過年度リザーブ積増等の影響を、政策株式の売却加速および Internationalの好調な保険引受が打ち返し。修正純利益の通期予想 (Actual) を、11月予想対比+1,400億円上方修正となる1兆1,800億円とする (CREローンに係るキャピタル損失額については、ワークアウト実行を通じた評価益の計上を除いて、11月予想から不変)
- 自然災害等の一過性の影響を除いたNormalizedベース*1の修正純利益は、11月予想対比+470億円上回る1兆710億円を見込む



*1: 自然災害を平年ベース (24.3末為替でグループ計1,430億円) に補正し、政策株式の売却益 (売却額が年初計画6,000億円を超えた部分)、北米キャピタル損 (24.3末為替で年初予想360億円からの変動分)、外貨間為替等の影響を控除

*2: Internationalは24.12末レート (158.18円/USD)、Japan P&C・Japan Lifeは25.1末レート (154.43円/USD) を適用。なお、Japan P&Cは24.12末レートとした場合▲390億円となる

*3: PHLY, DFG, TMHCC, TMK, TMSR, Pure

(ご参考) CREローンの状況

- キャピタル損失の合計額は、ワークアウト実行を通じた評価益の計上を除いて、11月予想時点から不変
- なお、2024年度4Qの引当額は、引き続き監査法人にて監査中

トータルリターン (グループ全体、税前・\$M)

	2024年度 通期予想 (今回)	2024年度 通期予想 (11月公表)	増減
インカム	950	920	+30
キャピタル	▲810	▲850	+30
(うちCECL)	① ▲760		
(うち減損)	▲60		
(うち実現損益等)	10		
合計	130	70	+60

(ご参考) 2023年度 実績	2022年度末 CECL残高 (BS直入)
1,140	
▲330	
② ▲240	③ ▲120
▲110	
20	
800	

LTV*1別のCECL引当の状況 (グループ全体、税前・\$M)

LTV*1	ローン 残高*2	構成比	2024年度見込み (今回予想)		2024年度 3Q実績	(ご参考) 2024年度見込み (11月予想)
			CECL引当残高	CECL引当率	CECL引当残高	CECL引当残高
<100%	7,630	68%	220	2.9%	100	100
100-125%	1,500	13%	160	10.4%	110	170
125-150%	1,110	10%	350	31.6%	160	330
150%+	970	9%	390	40.3%	410	590
合計	11,210	100%	①+②+③ 1,120*3	10.0%	780	1,180

*1: Loan To Value。LTV計算における物件評価額は、24年度着地を想定した見積りを含んだ数値。実際の第三者による鑑定評価とは異なる

*2: 24.12末時点

*3: 2024年度に減損計上する\$60MについてはCECL引当から振り替えているため上表には含まれない



2024年度 第3四半期決算概要

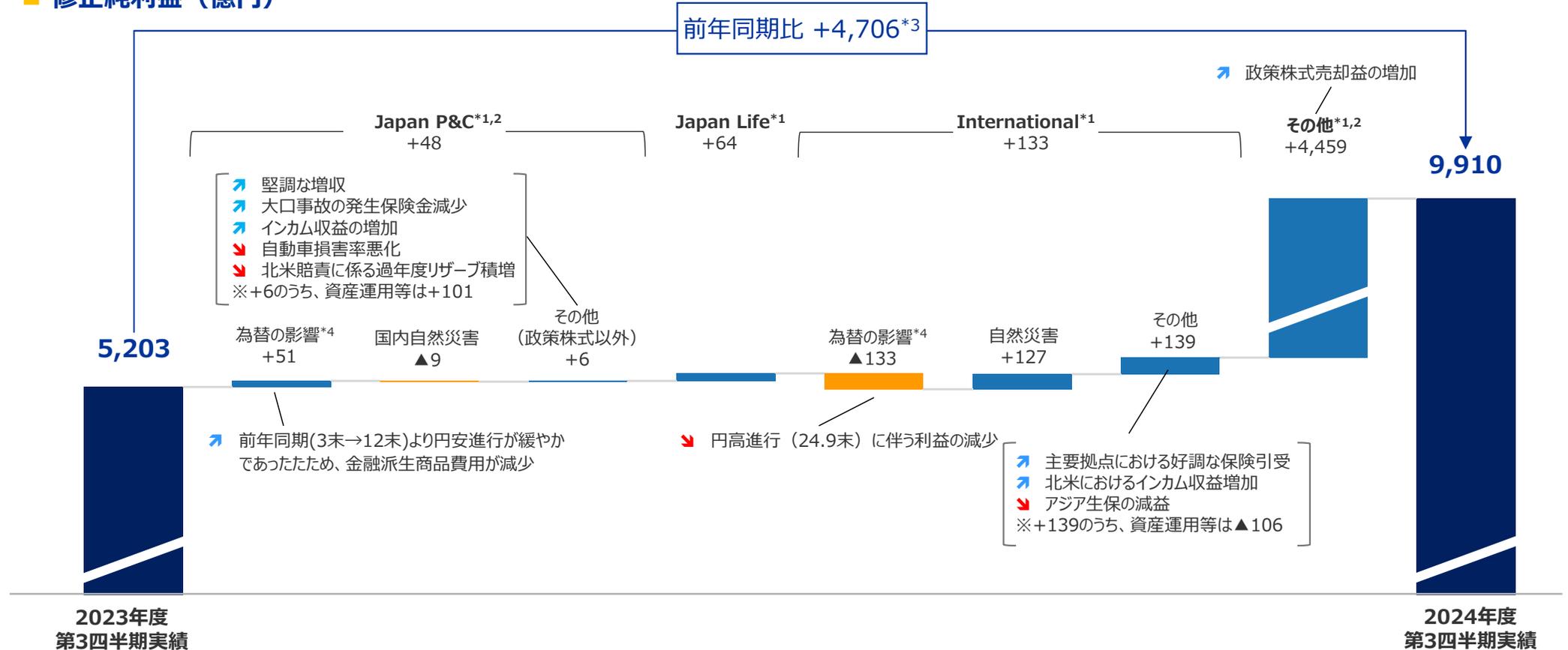
<ご参考>

	為替レート (ドル/円)	
	23年度	24年度
12月末レート (Japan)	141.83円 (23年3月末対比8.30円安)	158.18円 (24年3月末対比6.77円安)
9月末レート (International)	149.58円 (22年12月末対比16.88円安)	142.73円 (23年12月末対比0.90円安)

*なお、通期予想（11月公表）には、Japan・Internationalいずれも、24年9月末レートを使用

- 修正純利益の3Q実績は、政策株式の売却加速（売却益の大幅な増加）やInternationalにおける増益等により、前年同期比で+4,706億円の増益となった

■ 修正純利益（億円）



*1: Japan P&C=TMNF、Japan Life=AL。金額は各事業の事業別利益（「その他」はTMNF以外のJapan P&C事業や金融一般事業、政策株式売却損益、連結調整など）
 *2: 政策株式の売却益は、Japan P&Cの事業別利益には含まれないが、修正純利益には含まれる
 *3: 財務会計利益の増減との差異は、P.29およびP.31を参照
 *4: グループ全体および各事業における為替変動の影響（感応度）については、P.32を参照

- 3Q実績（税引前）は、前年同期比▲217億円減少の1,460億円
- 通期の自然災害予算（税引前）は、Internationalの基調を踏まえ、▲70億円減額の1,940億円（2025年1月発生 of LA山火事の影響は310億円・税後を見込み、このうち約120億円を2024年度に計上する）

■ 自然災害に係る正味発生保険金（事業別利益ベース、億円）

税引前	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	前年増減*3
	Japan*1,2	879	
International	798	591	▲206
合計	1,677	1,460	▲217
税引後*4			
Japan*1,2	634	626	▲7
International	608	459	▲149
合計	1,242	1,085	▲156

2024年度通期予想		増減*3 (②-①)
①11月公表	②今回	
1,160	1,160	-
850	780	▲70
2,010	1,940	▲70
840	840	-
660	600	▲60
1,500	1,440	▲60

■ 2024年3Qまでの主な自然災害（一定規模以上の自然災害を記載）

【Japan*2】 元受発生保険金*5
 令和6年4月兵庫雹災 490億円
 令和6年台風10号 178億円

【International】 正味発生保険金*5
 北米寒波 35億円
 ブラジル洪水 29億円
 カナダ雹災 31億円
 ハリケーンHelene 153億円

（ご参考）ハリケーンMilton（2024年4Q決算に計上） 130億円程度（24.12末為替）

■ 【ご参考】LA山火事（2025年1月）の影響*6（税後・金額は概算）



*1: 24年度から、Japan P&C事業の自然災害予算および実績には、「広域自然災害」に加え、「小口自然災害」も含めている（23年度の実績についても同一の定義で記載）

*2: TMNF、日新火災、イーデザイン損保の合計 *3: +は収益にマイナス、▲は収益にプラス *4: 税引後数値は概算 *5: 税引前

*6: LA山火事は、International事業におけるロスとして、事業別利益上は2025年1Qに計上されるため上表数値には含まれない。

一方、修正純利益および財務会計利益上は、TMNFによるInternational事業からの受再分（約120億円）が、3か月の決算期ズレのため、2024年4Q決算に計上される

- Actualベースの事業別利益は、円安進行*1によるマイナス影響を主因に、11月予想を下回って推移（進捗率73.2%）
- 一過性の影響等を除いた事業別利益*2は、自動車損害率の悪化の一方、インカム収益の上振れ等もあり、11月予想対比、概ねインラインで進捗（進捗率90.6% vs 過去5年平均85.8%）
- 前年同期比では、自動車の発生保険金の増加等を、自動車・火災の料率改定効果等が打ち返し、+48億円の増益

（符号は利益方向に一致。単位：億円）

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年増減	2024年度 通期予想 (11月公表)	進捗率
保険引受利益	697	972	275	1,330	73.2%
（保険引受利益：除く①～⑤）	1,440	1,727	287	2,263	76.3%
正味収入保険料（民保）	16,564	17,306	742	23,096	
既経過保険料（民保）*3	16,715	17,352	636	23,115	
発生保険金（民保）*4	▲11,073	▲11,182	▲109	▲14,369	
①国内自然災害	▲826	▲838	▲12	▲1,130	
②外貨建支払備金積増/積減	▲173	▲154	19	197	
上記以外	▲10,073	▲10,189	▲116	▲13,436	
事業費（民保）	▲5,202	▲5,423	▲220	▲7,348	
③異常危険準備金積増/積減	323	314	▲8	78	
自動車	496	640	143	586	
火災	▲146	▲340	▲194	▲447	
④自然災害責任準備金積増/積減	46	-	▲46	-	
⑤初年度収支残負担*5	▲112	▲76	36	▲79	
資産運用等増益	2,431	9,640	7,209	9,252	104.2%
経常利益	3,143	10,619	7,475	10,600	100.2%
特別損益	▲60	▲85	▲24	▲117	73.1%
当期純利益	3,397	8,554	5,156	8,380	102.1%
事業別利益への組替（P.31）	▲2,436	▲7,544	▲5,107	▲7,000	107.8%
事業別利益	961	1,010	48	1,380	73.2%
事業別利益（一過性の影響等控除ベース）	1,743	1,802	59	1,989	90.6%

【通期予想（11月公表）に対する進捗】

— 事業別利益（Actualベース）

- ➡ 12月末為替が、11月予想対比で円安となり、外貨建支払備金積増（約350億円*6）、および、金融派生商品費用（約200億円*6）が増加したことを主因に、11月予想を下回って進捗（進捗率73.2% vs 過去5年平均86.8%）

— 事業別利益（一過性の影響等控除ベース*2）

- ➡ 自動車損害率の悪化（▲約110億円*6）等により、保険引受利益は11月予想をやや下回る進捗の一方、インカム収益の上振れ等もあり、トータルでは概ねインラインで進捗（進捗率90.6% vs 過去5年平均85.8%）

なお、過去5年平均の進捗率をやや上回って進捗しているのは、上記インカム収益の上振れとは別に、DFG運用委託分の収益の一部（約40億円）を、3Qに前倒して認識したことが主因

【ご参考】準備金の前年同期比

— 異常危険準備金積増/積減

- ➡ 自動車：W/P損害率の上昇に伴う取崩の増加
- ➡ 火災：国内自然災害減少によるW/P損害率改善に伴う取崩減少

— 初年度収支残負担

- ➡ 主に労災等における前年積増の反動

*1: 11月予想=9月末レート（142.73円/USD）、3Q実績=12月末レート（158.18円/USD）

*2: Actualベースの事業別利益（1,010億円）から、国内自然災害（▲838億円）・為替（外貨建支払備金積増▲154億円、金融派生商品費用▲107億円）の税後を控除

*3: 自然災害責任準備金積増を除く *4: 損害調査費を含む

*5: 普通責任準備金積増額の内、未経過保険料の積増額を控除したもの *6: 11月予想対比の増減額（税前）

- 自動車保険・火災保険の商品・料率改定による増収、新種保険の拡販による増収等により、対前年+4.5%と、11月予想に対して概ね想定通りに進捗

(単位：億円)

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年		2024年度 通期予想 (11月公表)	前年 増減率
			増減	増減率		
火災	3,124	3,406	282	9.0%	4,422	5.8%
海上	624	679	55	8.8%	894	5.1%
傷害	1,498	1,536	37	2.5%	2,018	3.7%
自動車	8,472	8,739	266	3.1%	11,749	3.5%
自賠償	1,513	1,421	▲91	▲6.0%	1,910	▲3.6%
その他新種	2,845	2,946	100	3.5%	4,014	3.9%
合計	18,079	18,729	650	3.6%	25,010	3.4%
内：民保合計	16,564	17,306	742	4.5%	23,096	4.1%

【通期予想（11月公表）に対する進捗】

- 火災
 - ➔ これまでの商品・料率改定効果の発現等により、概ね想定通りに進捗。3Q実績の前年増減率が、11月予想の増減率を上回っているのは、24年10月料率改定前の駆け込みによる影響（想定通り）
- 海上
 - ➔ 物流の増加や円安影響により、11月予想を上回って進捗
- 傷害
 - ➔ 海外旅行保険の回復が想定を下回り、11月予想をやや下回って進捗
- 自動車
 - ➔ 概ね想定通りに進捗（25年1月に料率・商品改定実施済み）
（対前年）ノンフリート保険料単価+103.6%、ノンフリート台数+99.3%
- 自賠償
 - ➔ 概ね想定通りに進捗。3Q実績の前年増減率が、11月予想の増減率を下回っているのは、23年4月の料率引下げ（▲11.4%）効果が24年度上期まで発現したため
- その他新種
 - ➔ 賠償責任保険を中心とした増収により、概ね想定通りに進捗

● 11月予想対比での円安*¹に伴う外貨建支払備金積増の増加（約350億円*²）に加え、自動車保険の損害率の悪化、新種保険における大口事故の影響等もあり、11月予想をやや上回って進捗

（単位：億円）

	2023年度 第3四半期 実績		2024年度 第3四半期 実績		前年 増減	前年 増減率	2024年度 通期予想 (11月公表)	
		国内 自然 災害		国内 自然 災害				前年 増減率
火災	2,121	446	1,672	385	▲449	▲21.2%	2,317	▲14.2%
海上	389	1	476	0	87	22.3%	525	▲3.8%
傷害	873	-	916	-	43	5.0%	1,206	0.1%
自動車	5,712	350	6,157	437	444	7.8%	7,940	4.6%
その他 新種	1,976	27	1,959	15	▲16	▲0.9%	2,379	▲10.7%
合計	11,073	826	11,182	838	109	1.0%	14,369	▲2.3%

【通期予想（11月公表）に対する進捗】

火災

➡ 円安に伴う外貨建支払備金積増の増加（約90億円*²）の一方で、大口事故や自然災害が想定より少なかったこと等により、11月予想を下回って進捗

海上

➡ 円安に伴う外貨建支払備金積増の増加（約30億円*²）に加え、大口事故の影響等により、11月予想を上回って進捗

傷害

➡ 海外旅行保険の事故増加等により、11月予想を上回って進捗

自動車

➡ 事故頻度、保険金単価ともに、11月予想を上回って進捗

（対前年）	1Q-3Q実績	11月予想（通期）
事故頻度	97.8%	96%程度
保険金単価（車両・対物）	105.9%	104%程度

その他新種

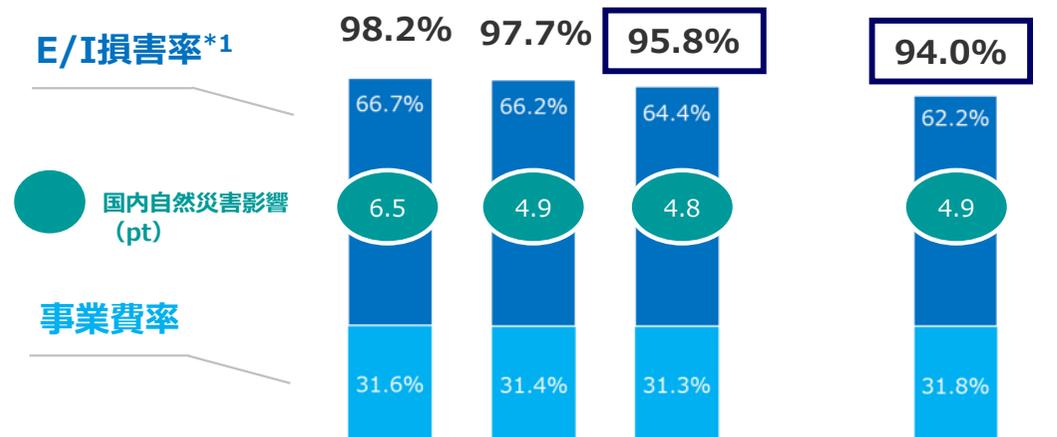
➡ 円安に伴う外貨建支払備金積増の増加（約230億円*²）に加え、大口事故（北米賠償に係る過年度リザーブ積増・約110億円*²等）の影響等により、11月予想を上回って進捗

*1: 11月予想=9月末レート（142.73円/USD）、3Q実績=12月末レート（158.18円/USD）

*2: 11月予想対比の増減額（税前）

- 円安に伴う外貨建支払備金積増の増加 (E/I損害率が悪化) を主因に、コンバインド・レシオは11月予想をやや上回る水準で進捗
- 前年同期比では、自動車保険・火災保険の増収効果に加え、海外源泉契約における大口の発生保険金 (前年のハワイ山火事・約260億円 等) の減少などに伴うE/I損害率低下により、改善

コンバインド・レシオ (民保E/Iベース)



【通期予想 (11月公表) に対する進捗】

- E/I損害率
 - ➡ 円安に伴う外貨建支払備金の増加に加え、自動車保険の損害率悪化の影響等もあり、11月予想を上回って進捗
- 事業費率
 - ➡ 社費率 (11.0%)、手数料率 (20.3%) とともに、11月予想対比、インラインで進捗
- コンバインド・レシオ
 - ➡ 上記要因により、11月予想をやや上回って進捗

(単位: 億円)

	2022年度 第3四半期 実績	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年増減	2024年度 通期予想 (11月公表)
正味収入保険料	16,334	16,564	17,306	742	23,096
既経過保険料*2	15,974	16,715	17,352	636	23,115
発生保険金*1	10,649	11,073	11,182	109	14,369
事業費	5,157	5,202	5,423	220	7,348
内: 社費	1,769	1,812	1,907	95	2,689
内: 代理店手数料	3,388	3,389	3,515	125	4,658

*1 損害調査費を含む
*2 自然災害責任準備金積増を除く

E/I損害率*1*3

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年増減	2024年度 通期予想 (11月公表)
火災	65.7%	48.1%	▲ 17.6pt	50.9%
海上	59.7%	68.9%	9.2pt	59.3%
傷害	60.9%	62.0%	1.2pt	60.9%
自動車	67.9%	71.1%	3.2pt	68.1%
その他新種	66.1%	64.4%	▲ 1.8pt	58.9%
民保合計	66.2%	64.4%	▲ 1.8pt	62.2%

*3 国内自然災害および為替の影響を除いた損害率は以下の通り
(火災) 23年3Q: 50.6%、24年3Q: 35.9%、11月予想: 38.0%
(自動車) 23年3Q: 63.7%、24年3Q: 66.0%、11月予想: 64.2%
(その他新種) 23年3Q: 61.4%、24年3Q: 60.6%、11月予想: 61.3%

● 資産運用等損益は、政策株式の売却加速を主因に、11月予想を上回って推移

(単位：億円)

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年増減	2024年度 通期予想 (11月公表)	進捗率
資産運用等損益	2,431	9,640	7,209	9,252	104.2%
資産運用損益	2,754	10,030	7,276	9,768	102.7%
ネット利息及び配当金収入	2,061	3,533	1,471	3,521	100.3%
利息及び配当金収入	2,279	3,744	1,464	3,810	
内国株式配当金	749	767	17	775	
外国株式配当金	1,003	2,337	1,333	2,170	
内国債券インカム	116	102	▲ 13	130	
外国債券インカム	11	11	▲ 0	14	
内国その他インカム*1	▲ 2	27	29	0	
外国その他インカム*2	243	300	56	469	
積立保険料等運用益振替	▲ 217	▲ 211	6	▲ 289	
売却損益等計（キャピタル）	692	6,497	5,804	6,247	104.0%
有価証券売却損益	1,281	6,958	5,677	6,842	
有価証券評価損	▲ 24	▲ 10	14	▲ 0	
内国株式評価損	▲ 5	▲ 10	▲ 4	▲ 0	
外国証券評価損	▲ 19	-	19	-	
金融派生商品損益	▲ 803	▲ 764	38	▲ 536	
為替差損益	236	305	68	▲ 61	
その他	2	7	5	4	
その他経常収益・費用等	▲ 323	▲ 390	▲ 66	▲ 516	

【通期予想（11月公表）に対する進捗】

－ ネット利息及び配当金収入（インカム）

➡ 海外子会社からの受取配当金の増加を主因に
11月予想を上回って進捗

※「外国その他インカム」について、DFG運用委託分の収益の一部（約40億円）を、3Qに前倒して認識したことから、前年同期比で進捗が進んでみえている

－ 売却損益等計（キャピタル）

➡ 円安進行に伴う為替差益が、金融派生商品費用の増加を一部相殺し、概ね計画通り

➡ ヘッジコストは概ね計画通り

➡ 政策株式売却額は約7,810億円、
売却益は約7,010億円と、11月予想を上回って推移

※通期の売却額は約9,120億円（11月予想対比+1,620億円）
売却益は約8,150億円を見込む

*1 内国証券のうち内国株式及び内国債券以外からのインカム

*2 外国証券のうち外国株式及び外国債券以外からのインカム

注) 上表における符号は、利益方向に一致するように表示

- 新契約年換算保険料は、競争激化の影響で、保障性商品の販売が下振れたこと等により、11月予想を下回って進捗
- 事業別利益は、円安進行に伴う金融派生商品費用の増加と、トップラインの下振れに伴う初年度負担の減少により、11月予想に対し概ねインライン

(単位：億円)

	2023年度		2024年度		2024年度	
	第3四半期実績	第3四半期実績	前年増減	前年増減率	通期予想(11月公表)	前年増減率
新契約年換算保険料	362	336	▲26	▲7.2%	500	1.6%
保有契約年換算保険料	7,799	7,677	▲121	▲1.6%	7,670	▲1.7%
経常収益	6,987	8,062	1,074	15.4%	9,580	
保険料等収入	5,712	5,583	▲128	▲2.3%	7,640	
当期純利益	230	234	3	1.6%	270	86.8%
経常利益	217	284	67	30.9%	290	
(-) キャピタル損益*	▲6	▲323	▲317	-	▲330	
(-) 臨時損益*	▲4	322	326	-	300	
基礎利益	228	285	57	25.3%	320	
事業別利益	240	305	64	26.9%	390	78.4%

【通期予想（11月公表）に対する進捗】

新契約年換算保険料

- ➡ 競争激化の影響で、保障性商品の販売が想定より下振れたこと等により、11月予想を下回って進捗

事業別利益

- ➡ 円安進行に伴う金融派生商品費用の増加（▲20億円）と、トップライン下振れに伴う初年度負担の減少により、11月予想に対し概ねインライン

*: 2024年度数字の大宗は、2024年4月に実施したブロック出再による影響。ブロック出再により、キャピタル損（有価証券売却損）と臨時益（責任準備金取崩し-再保険料）が生じるが、概ね相殺される

- 3Q実績は、11月予想対比で順調に進捗
- 前年同期比では、各拠点における成長施策の着実な実行により、+5.4%の増収

(単位：億円)

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績			(参考) 前年増減率 (除く為替*4)	2024年度 通期予想 (11月公表)	前年増減率 (除く為替*4)
	23年9月末	24年9月末	前年 増減	前年 増減率		24年9月末	
適用為替レート (ドル/円)	149.5円	142.7円				142.7円	
北米*1	16,154	16,328	173	1.1%	5.9%	20,920	6.8%
PHLY	4,560	4,580	20	0.5%	5.3%	5,860	4.6%
DFG	4,188	4,407	219	5.2%	10.3%	5,660	10.1%
TMHCC	6,488	6,506	18	0.3%	5.1%	8,280	6.3%
欧州*2	1,644	1,789	144	8.8%	5.1%	2,470	6.8%
中南米	2,394	2,301	▲93	▲3.9%	9.1%	3,040	9.5%
アジア・オセアニア	2,054	2,059	5	0.3%	▲1.5%	2,760	▲1.5%
中東・アフリカ	343	371	27	8.1%	3.8%	460	1.6%
損保計*3	22,590	22,856	265	1.2%	5.5%	29,660	6.3%
生保	923	979	55	6.0%	0.9%	1,300	0.9%
合計	23,514	23,835	320	1.4%	5.4%	30,960	6.0%

(ご参考) Pureレシプロカルの保険料 (GWPベース)

Pure	2,431	2,699	267	11.0%	16.3%
------	-------	-------	-----	-------	-------

International事業の数値は、従来からIR資料などで開示している基準と合わせ、TMNFの在外支店や持分法適用会社、非連結会社なども合算したInternational事業トータルの数値となっている (P.19も同様)

*1: 「北米」に記載の数値には、TMHCCの欧州事業を含む。TMKの北米事業は含まない

*2: 「欧州」に記載の数値には、TMKの北米事業を含む。TMHCCの欧州事業は含まない

*3: 「損保計」に記載の数値には、生損保兼営の海外子会社で引き受けている生命保険事業の数値を一部含む

*4: 円換算時の為替の影響を控除 (上記全ての注については、P.19も同様)

【3Q実績（1-9月）のポイント】

– 北米（主要3社の詳細はP.21～23参照）

PHLY： レートアップ（3Q実績：+11%）や新規引受の拡大等により、引き続き好調

DFG： 生損保共に主要種目（超過額労災や団体生保、長期就業不能保障等）の引受が引き続き好調

TMHCC： 新規引受が好調なメディカルストップロスを中心に、概ね計画通りに推移

– 欧州

一部種目でソフト化の傾向がみられるものの（想定通り）、概ね計画通りに推移

– 中南米

自動車保険は、価格競争の中でも概ね計画通りに推移。自動車保険以外は計画を上回り、基調は好調

– アジア・オセアニア

インドにおける自動車保険の減収はあるものの、概ね計画通りに推移

- 3Q実績は、11月予想対比で好調に進捗。前年同期比では、金利低下等に伴うアジア生保の減益（▲251億円）や円高進行（▲133億円）を、各拠点の好調な業績が打ち返し+133億円
- 通期では、11月予想対比での円安進行（+340億円）や一過性の影響額の変動（自然災害+120億円、北米キャピタル損益+60億円、外貨間為替+60億円）、左記以外の主要拠点*1の業績の上振れ（+320億円、うち過年度リザーブ取崩し+約230億円）等により、11月予想対比+980億円*2程度上振れる見込み

*1: PHLY、DFG、TMHCC、TMK、TMSR、Pure

*2: 速報値。24.12末レートを使用

(単位：億円)

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替)	2024年度 通期予想 (11月公表)	進捗率 (除く為替)
	23年9月末	24年9月末				24年9月末	
適用為替レート (ドル/円)	149.5円	142.7円				142.7円	
北米	2,319	2,606	287	12.4%	17.7%	2,890	90.2%
PHLY	578	654	76	13.1%	18.6%	720	90.9%
DFG	1,060	1,051	▲9	▲0.9%	3.9%	1,000	105.2%
TMHCC	799	779	▲20	▲2.5%	2.1%	1,120	69.6%
欧州	259	312	52	20.4%	16.2%	310	100.8%
中南米	308	253	▲55	▲18.0%	▲6.7%	320	79.2%
アジア・オセアニア	236	245	8	3.4%	▲0.6%	260	94.3%
中東・アフリカ	13	10	▲3	▲26.5%	▲29.1%	20	50.5%
損保計	2,966	3,386	419	14.2%	18.7%	3,630	93.3%
生保	▲24	▲276	▲251	-	-	▲330	-
Pure	220	252	31	14.4%	19.9%	320	79.0%
合計	3,008	3,141	133	4.4%	9.3%	3,330	94.4%

【3Q実績（1-9月）のポイント】

– 北米（主要3社の詳細はP.21～23参照）

PHLY： 良好な「除く自然災害」の損害率や過年度リザーブ取崩し等により、基調は好調。
CREローンに係るCECL引当等についても想定通り（3Q実績：▲約\$30M、通期見込み：▲約\$90M）

DFG： 保険引受利益は生損保共に好調。
CREローンに係るCECL引当等についても想定通り（3Q実績：▲約\$330M、通期見込み：▲約\$580M）

TMHCC： コンバインド・レシオは88.6%と引き続き良好な水準であり、基調は順調

– 欧州

コンバインド・レシオは84.3%と保険引受は好調を維持
ただし、11月公表通り、過年度の個別大口事案に係るリザーブ積増し（一過性）を4Qに計上予定

– 中南米

計画対比良好な損害率や、資産運用収益の増加等により、基調は好調

– アジア・オセアニア

シンガポール、マレーシア、タイなど、各国の好調な保険引受利益により、計画を上回って推移

– Pure

トップライン成長によるフィー収入の増加により、基調は堅調

■ 主要勘定科目の増減

（単位：億円）

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
	23年9月末 (ドル/円) 149.5円	24年9月末 142.7円			
正味収入保険料	4,560	4,580	20	0.5%	5.3%
既経過保険料	4,216	4,296	80	1.9%	6.8%
発生保険金	2,649	2,685	35	1.3%	6.2%
自然災害	278	311	32	11.8%	17.1%
事業費	1,319	1,344	24	1.9%	6.8%
保険引受利益	246	266	20	8.1%	13.3%
資産運用等損益	503	547	43	8.5%	13.7%
インカム損益	668	691	23	3.4%	8.4%
キャピタル損益	▲ 95	▲ 80	15	-	-
事業別利益	578	654	76	13.1%	18.6%
損害率*1	62.8%	62.5%	▲0.3pt	-	-
事業費率*1	31.3%	31.3%	▲0.0pt	-	-
コンバインド・レシオ*1	94.1%	93.8%	▲0.4pt	-	-

*1 分母は既経過保険料

*2 円換算時の為替の影響を控除

■ 主要勘定科目の増減

(単位：億円)

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
	23年9月末	24年9月末			
適用為替レート (ドル/円)	149.5円	142.7円			
正味収入保険料	4,188	4,407	219	5.2%	10.3%
既経過保険料	3,945	4,161	215	5.5%	10.5%
発生保険金	2,548	2,693	145	5.7%	10.8%
自然災害	-	-	-	-	-
事業費	1,133	1,220	86	7.6%	12.8%
保険引受利益	263	247	▲16	▲6.1%	▲1.6%
資産運用等損益	1,163	1,221	57	5.0%	10.0%
インカム損益	2,956	3,196	240	8.1%	13.3%
キャピタル損益	▲534	▲488	46	-	-
事業別利益	1,060	1,051	▲9	▲0.9%	3.9%
損害率*1	64.6%	64.7%	0.2pt	-	-
事業費率*1	28.7%	29.3%	0.6pt	-	-
コンバインド・レシオ*1	93.3%	94.1%	0.7pt	-	-

<インカム損益 + キャピタル損益 = 資産運用等損益にならない理由について>

- 左表に記載されない項目として、その他経常損益があるため
- その他経常損益の大宗は年金ビジネスにかかる調達コスト

■ セグメント別正味収入保険料

(単位：億円)

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除く為替*2)
	23年9月末	24年9月末			
適用為替レート (ドル/円)	149.5円	142.7円			
損保	2,085	2,165	79	3.8%	8.8%
生保	2,102	2,242	139	6.6%	11.8%
合計	4,188	4,407	219	5.2%	10.3%

■ セグメント別損害率*1

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年 増減
損保	65.6%	63.0%	▲2.7pt
生保	63.6%	66.2%	2.6pt
合計	64.6%	64.7%	0.2pt

*1 分母は既経過保険料

*2 円換算時の為替の影響を控除

■ 主要勘定科目の増減

(単位：億円)

適用為替レート (ドル/円)	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除 _{為替} *2)
	23年9月末	24年9月末			
	149.5円	142.7円			
正味収入保険料	6,488	6,506	18	0.3%	5.1%
既経過保険料	6,057	6,041	▲15	▲0.3%	4.5%
発生保険金	3,808	3,780	▲28	▲0.8%	4.0%
自然災害	82	140	57	70.2%	78.4%
事業費	1,471	1,569	98	6.7%	11.8%
保険引受利益	589	487	▲102	▲17.4%	▲13.4%
外貨間為替損益(ドル対ポンド・ユーロ)	▲1	▲32	▲30	-	-
保険引受利益(外貨間為替影響控除後)	592	520	▲71	▲12.1%	▲7.9%
資産運用等損益	448	484	35	7.9%	13.1%
インカム損益	470	517	47	10.1%	15.4%
キャピタル損益	4	▲6	▲10	▲253.1%	▲260.5%
事業別利益	799	779	▲20	▲2.5%	2.1%
損害率 ^{*1}	62.9%	62.6%	▲0.3pt	-	-
事業費率 ^{*1}	24.3%	26.0%	1.7pt	-	-
コンバインド・レシオ ^{*1}	87.2%	88.6%	1.4pt	-	-

<既経過保険料-発生保険金-事業費 = 保険引受利益にならない理由について>

- 外貨間為替損益の影響に加え、左表に記載されない項目として、持株会社の経費等があるため

■ セグメント別正味収入保険料

(単位：億円)

適用為替レート (ドル/円)	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年 増減	前年 増減率	(参考) 前年増減率 (除 _{為替} *2)
	23年9月末	24年9月末			
	149.5円	142.7円			
北米損保	2,306	2,190	▲115	▲5.0%	▲0.5%
傷害・医療	2,007	2,038	30	1.5%	6.4%
米国外	2,169	2,274	105	4.8%	9.9%
合計	6,488	6,506	18	0.3%	5.1%

■ セグメント別損害率^{*1}

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年 増減
北米損保	63.9%	62.9%	▲0.9pt
傷害・医療	75.4%	76.3%	0.9pt
米国外	47.5%	47.1%	▲0.4pt
合計	62.9%	62.6%	▲0.3pt

*1 分母は既経過保険料

*2 円換算時の為替の影響を控除

(Blank Page)



参考資料

- インカムの着地見込みは、イールドを概ね維持しつつAUMが拡大したことにより11月予想対比+\$40M、
 キャピタルの着地見込みは、CREローンにおけるワークアウト実行を通じた評価益の計上や、金利スワップにおける
 評価損益の改善等により同+\$60M（出来上がりのトータルリターンは、同+\$100Mを見込む）
- CREローンに係るキャピタル損失額については、ワークアウト実行を通じた評価益の計上を除くと、11月予想から不変*1

北米拠点全体のトータルリターン*2（税前・\$M）

	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減	2024年度 通期予想 (11月公表)	2024年度 通期予想 (今回)	増減	(ご参考) 2023年度 通期実績
インカム	2,430	2,660	+230	3,520	3,560	+40	3,330
キャピタル	▲450	▲410	+40	▲850	▲790	+60	▲430
（うちCECL）	▲230	▲380	▲140		▲680		▲260
（うち減損）	▲140	▲40	+100		▲110		▲160
（うち金利スワップ・売却損益等）	▲80	0	+80		▲10		▲10
合計	1,980	2,250	+270	2,670	2,770	+100	2,900

(ご参考) CREローンのトータルリターン（グループ全体、税前・\$M）

	2023年度 3Q実績	2024年度 3Q実績	増減	2024年度 通期予想 (11月公表)	2024年度 通期予想 (今回)	増減	(ご参考) 2023年度 通期実績
インカム	830	730	▲100	920	950	+30	1,140
キャピタル	▲310	▲430	▲120	▲850	▲810	+30*3	▲330
（うちCECL）	▲220	▲420	▲200		▲760		▲240
（うち減損）	▲120	▲0	+110		▲60		▲110
（うち実現損益等）	20	▲10	▲30		10		20
合計	510	300	▲210	70	130	+60	800

*1: 2024年度4QのCECL引当額は、引き続き監査法人にて監査中

*2: 年金ビジネスに係る調達コスト等は含まず

*3: ワークアウト実行を通じた評価益の計上

修正純利益（グループ全体）

透明性および比較可能性の向上／株主還元との連鎖

- 市場から見た透明性や比較可能性の向上、株主還元との連鎖の確保を目的として、グループ全体では財務会計をベースとした「修正純利益」を使用
- 資本効率（修正ROE）や配当原資の前提となるグループ全体の利益指標

事業別利益

長期的な企業価値拡大

- 各事業の利益指標は、経済価値等を考慮した企業価値を的確に把握し、長期的に拡大を目指す観点から、「事業別利益」を用いて経営管理を行う

<主な違い>

		修正純利益	事業別利益
損害保険	政策株式売却損益	控除しない	控除
	資本性準備金繰入額	控除	控除
その他	のれん・その他無形固定資産償却費	控除	控除

修正純利益・修正純資産・修正ROEの定義

$$\begin{aligned}
 \text{修正純利益}^{*1} &= \text{連結当期純利益}^{*2} + \text{異常危険準備金繰入額}^{*3} + \text{危険準備金繰入額}^{*3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{*3} + \text{自然災害責任準備金}^{*4} \text{繰入額}^{*3} + \text{初年度収支残}^{*5} \text{の影響額}^{*6} \\
 &\quad - \text{ALM}^{*7} \text{債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} - \text{事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} + \text{のれん・その他無形固定資産償却額} - \text{その他特別損益・評価性引当等} \\
 \text{修正純資産}^{*1} &= \text{連結純資産} + \text{異常危険準備金} + \text{危険準備金} + \text{価格変動準備金} + \text{自然災害責任準備金}^{*4} + \text{初年度収支残}^{*5} \\
 \text{修正ROE} &= \frac{\text{修正純利益}^{*1}}{\text{修正純資産}^{*1,8}}
 \end{aligned}$$

- *1: 各調整額は税引き後
- *2: 連結財務諸表上の「親会社株主に帰属する当期純利益」
- *3: 戻入の場合はマイナス
- *4: 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料
- *5: 保険料から発生保険金の一部と事業費を控除した残高を、翌期以降の保険事故に備えて繰り越すもの
- *6: 普通責任準備金積増額のうち、未経過保険料の積増額を控除したもの
- *7: ALM = 資産・負債総合管理のこと。ALM負債時価変動見合いとして除外
- *8: 平均残高ベース
- *9: 海外生保事業は「その他の事業」の基準により算出（利益については本社費等を控除）

事業別利益の定義

● 損害保険事業

$$\text{事業別利益}^{*1} = \text{当期純利益} + \text{異常危険準備金等繰入額}^{*3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{*3} + \text{自然災害責任準備金}^{*4} \text{繰入額}^{*3} + \text{初年度収支残}^{*5} \text{の影響額}^{*6}$$

● 生命保険事業^{*9}

$$\text{事業別利益}^{*1} = \text{当期純利益} + \text{危険準備金等繰入額}^{*3} + \text{価格変動準備金繰入額}^{*3} - \text{ALM}^{*7} \text{債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} - \text{政策株式・事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益・評価性引当等}$$

● その他の事業

財務会計上の当期純利益

$$\text{財務会計上の当期純利益} - \text{ALM}^{*7} \text{債券・金利スワップ取引に関する売却・評価損益} - \text{政策株式・事業投資に係る株式・固定資産に関する売却損益・評価損} - \text{その他特別損益・評価性引当等}$$

実質純資産の定義

$$\text{実質純資産}^{*1} = \text{連結純資産} + \text{異常危険準備金} + \text{危険準備金} + \text{価格変動準備金} - \text{のれん・その他無形固定資産} - \text{株主還元予定額} + \text{生保保有契約価値} + \text{その他}$$

(単位：億円)

組替表^{*1}

(注) 符号は利益方向にプラス表示

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年 増減	2024年度通期予想			
				2023年度 実績	11月公表	今回	今回-11月
親会社株主に帰属する当期純利益 (連結)	5,174	8,952	3,777	6,958	8,800	10,000	1,200
異常危険準備金繰入額 ^{*2}	▲ 242	▲ 206	36	▲ 239	▲ 10	▲ 90	▲ 80
危険準備金繰入額 ^{*2}	+ 13	+ 17	3	+ 23	+ 20	+ 20	-
価格変動準備金繰入額 ^{*2}	+ 37	+ 46	8	+ 56	+ 70	+ 70	-
自然災害責任準備金 ^{*3} 繰入額 ^{*2}	▲ 35	▲ 0	34	▲ 200	▲ 0	▲ 0	-
初年度収支残の影響額	+ 79	+ 53	▲ 25	+ 27	+ 50	+ 50	-
ALM ^{*4} 債券・金利スワップ取引に 関する売却・評価損益	+ 9	+ 93	83	+ 25	+ 130	+ 400	270
事業投資に係る株式・固定資産に 関する売却損益・評価損	▲ 816	+ 48	865	▲ 780	+ 50	+ 50	-
のれん・その他無形固定資産償却額	+ 974	+ 904	▲ 70	+ 1,242	+ 1,210	+ 1,320	110
その他特別損益・評価性引当等	+ 8	+ 1	▲ 7	+ 2	+ 0	+ 0	-
修正純利益	5,203	9,910	4,706	7,116	10,400	11,800	1,400

*1 各調整は税引き後

*2 戻入の場合はマイナス

*3 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料

*4 ALM = 資産・負債総合管理のこと。ALM負債時価変動見合いとして除外

修正純資産・修正ROE（2023年度実績、2024年度通期予想）



（単位：億円）

● 修正純資産*1

	2023年度 実績	2024年度 予想 (11月)	2024年度 予想 (今回)	今回-11月
連結純資産	51,766	49,600	50,520	920
異常危険準備金	+7,907	+7,900	+7,820	▲80
危険準備金	+489	+510	+510	-
価格変動準備金	+1,010	+1,080	+1,080	-
自然災害責任準備金	+4	+0	+0	-
初年度収支残	+342	+390	+390	-
のれん・ その他無形固定資産	▲7,706	▲6,880	▲6,750	130
修正純資産	53,814	52,610	53,580	970

● 修正ROE

	2023年度 実績	2024年度 予想 (11月)	2024年度 予想 (今回)	今回-11月
連結純利益	6,958	8,800	10,000	1,200
連結純資産*2	44,038	50,680	51,140	460
財務会計ROE	15.8%	17.4%	19.6%	2.2pt
	2023年度 実績	2024年度 予想 (11月)	2024年度 予想 (今回)	今回-11月
修正純利益	7,116	10,400	11,800	1,400
修正純資産*2	45,903	53,210	53,700	490
修正ROE	15.5%	19.5%	22.0%	2.4pt

*1 各調整は税引後

*2 平残ベース

● Japan P&C事業*1 (うちTMNF)

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年 増減	2024年度 予想 (11月公表)
当期純利益 (財務会計)	3,397	8,554	5,156	8,380
異常危険準備金繰入額等*2	▲221	▲212	9	▲37
価格変動準備金繰入額*2	+33	+34	1	+46
自然災害責任準備金*3繰入額*2	▲33	-	33	-
初年度収支残の影響額	+81	+55	▲26	+57
ALM*4債券・金利スワップ取引 に関する売却・評価損益	+7	+40	33	+44
政策株式・事業投資に係る株式・ 固定資産に関する売却・評価損益	▲1,734	▲5,251	▲3,517	▲5,164
グループ内配当金	▲944	▲2,301	▲1,357	▲2,109
その他特別損益 評価性引当等	+374	+90	▲284	+162
事業別利益	961	1,010	48	1,380

*1 各調整は税引き後

*2 戻入の場合はマイナス

*3 大規模自然災害リスクに対応した火災保険の未経過保険料

*4 ALMとは資産・負債総合管理のこと。ALM負債時価変動見合いとして除外

*5 ブロック出再に係る出再損益を含む

*6 特別損益、本社費ほか

● Japan Life事業*1

(単位：億円)

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年 増減	2024年度 予想 (11月公表)
当期純利益 (財務会計)	230	234	3	270
危険準備金等繰入額*2	+2	+2	0	+5
価格変動準備金繰入額*2	+5	+15	9	+23
ALM*4債券・金利スワップ取引 に関する売却・評価損益等*5	+2	+52	50	+87
政策株式・事業投資に係る株式・ 固定資産に関する売却・評価損益	+0	+0	0	+0
その他特別損益 評価性引当等	-	-	-	-
事業別利益	240	305	64	390

● International事業*1

	2023年度 第3四半期 実績	2024年度 第3四半期 実績	前年 増減	2024年度 予想 (11月公表)
当期純利益 (財務会計)	3,495	3,370	▲125	3,730
少数株主持分の調整	▲12	▲7	5	
対象会社の差異	▲465	▲203	262	
その他調整*6	▲8	▲17	▲9	
事業別利益	3,008	3,141	133	3,330

● 1円の円安進行*1があった場合の概算影響

財務会計上の当期純利益への影響*2		修正純利益への影響*2	
① 海外子会社利益の増加 :	+ 約24億円	① 海外子会社利益の増加 :	+ 約30億円
➡ 現地子会社利益の増加		(左記のうち、無形固定資産とのれんの償却費	
➡ 無形固定資産とのれんの償却費の増加		は修正純利益で足し戻されるため影響しない)	
② TMNFにおける外貨建支払備金や	▲ 約25億円	② TMNFにおける外貨建支払備金や	▲ 約25億円
為替デリバティブ損益等の変動 :		為替デリバティブ損益等の変動 :	
合 計 :	▲ 約1億円	合 計 :	+ 約5億円

* 1: 各通貨の為替が米ドルと同様の比率で変動する前提

* 2: 24年度予想への概算影響。税引後ベース

● ご参考 : 米ドル円の適用為替レート



* 3: 海外子会社については、24年度実績および2月予想はいずれも12月末為替レートを適用するため、24年度実績と2月予想との間で為替変動の影響は生じない

< ご注意 >

本資料は、現在当社が入手している情報に基づいて、当社が本資料の作成時点において行った予測等を基に記載されています。

これらの記述は将来の業績を保証するものではなく、一定のリスクや不確実性を内包しております。

従いまして、将来の実績が本資料に記載された見通しや予測と大きく異なる可能性がある点をご承知おきください。

お問い合わせ先

東京海上ホールディングス株式会社

グローバルコミュニケーション部 IR・SRグループ

URL: www.tokiomarinehd.com/inquiry/ir.html



東京海上ホールディングス

*Inspiring Confidence.
Accelerating Progress.*

